

# 次回の議会のお知らせ

平成22年第2回定例会は…  
平成22年6月3日(木)開会  
の予定です。

本会議・委員会は  
どなたでも傍聴できます

3月議会の傍聴者数は、79人でした

お問い合わせは…議会事務局  
TEL 64-7716 まで



たまむら議会だよりは、ホームページでも公開しています。また、本会議の会議録をはじめ、議会情報も随時お知らせしていますので、ぜひアクセスしてみてください。

玉村町議会 検索



## 「夢・希望・誇りの持てる町」を「ありがとう運動」の推進を

町田 むねひろ 議員



「夢や希望が持て、誇

Q 私、もう少し大きく考えている。「子どもからお年寄りまで、だれでも

A 町長 田園・自然環境を残しつつ、安心して生活できる町を、そして県立女子大と連携し、学生が勉学に励める環境をつくりたい。

Q 町長は、第5次総合計画で、玉村町をどのようにな町にしようとしているか。

りが持てる町」にする」その考えのもとに、  
①茨城県「つくば市」のような学園都市（県立女子大を男女共学の総合大学とし、幼稚園から高校までを附置した一貫教育校にする。さらに、国の研究機関を誘致する）  
②「札幌市」や「仙台市」のように、きれいな水が流れ、緑豊かな、文化レベルの高い田園都市  
③高齢者が幸せに生きられる町にする。

Q 昨年6月定例会において約束した「ありがとう運動」を推進されたい。

A 町長 田園都市構想は、私も同感である。高齢者対策が重要になるが、町民と英知を出し合い、実現に努めたい。

A 教育長 学園都市構想は素晴らしいと思う。夢を持って実現に努めたい。

このような構想に対する考えを問う。

A 教育長 熊谷前教育長から「人間関係が希薄になっている現在の社会の中では、感謝することが必要で、そのために、『ありがとう』という言葉を広めていきたい」との答弁があった。私も基本的には同じ考えである。



群馬県立女子大学